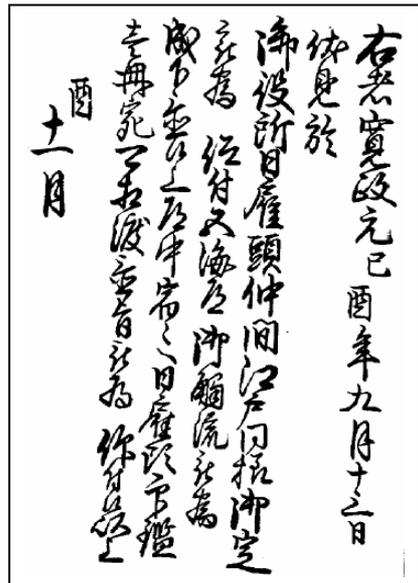


### 他に出てくる同じ字を探す



(h)の最初の **五** は第 15 回で“数字のくずしの中では一番難しい”と、出てきた「五」です。次は「海」。次の **乃** は、大きく崩れていますが、「道」です。頻出しますので、ここで覚えましょう。したがって、(h)は「**五海道**」で「五街道」と同じ意味です。なお、**乃** (道)に感じがよく似た字に



**乃** (跡)があります。並べてみるとはっきり違いますが、文章の中で出てくると紛らわしいこともあります。

次に(i)ですが、最初は「御」。次の **觸** は難しい字で、偏の **角** は「角」という字に見えるでしょうか。**觸** は「觸(触)」という字です。この字は「**觸書**」の「触」ですので、頻出します。最後の **流** は、偏は「**氵**」で、**旁** は、筆が流



れている部分を取り除くと **流** という感じですので、「流」という字です。(i)は「**御觸流**」。(h)(i)で「五街道にお触れを流す」といった意味でしょうか。



(j)の最初の **被** は、「被」です。これを、前回の(g)に出てきた **被** と比較してみると、最初の筆の入り方が(g)は **フ**、(j)は **フ** と(g)の方が1クッション多くなっています。この文章の書き手は「被」をこのように書くのだと確認できます。(j)まで読んで初めて(?) (g)の **被** は「被」と確信ができます。次の **為** は、前回出てきた崩し方と同じで、「為」。

次の **成** は筆が流れている部分を取り除くと「成」。その次の **下** は「下」です。

次の **置** は“見たことはある”という感じだと思いますが、第 4 回、第 13 回、第 14 回、と何度か登場している「置」です。最後の 2 文字は「候」「上」です。(j)は「**被為成下置候上**」(成し下し置き為され候上)となります。